



議会だより

第19回壱岐の島新春マラソン大会

ゴールテープを切るアテネオリンピックマラソン金メダリスト野口みずき選手
(第19回壱岐の島新春マラソン大会 1月9日 壱岐市ふれあい広場にて)



主な内容

| | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 12月定例会の概要・市長行政報告p 2 / p 3 | 請願・陳情・要請等の審査経過報告p24 / p25 |
| 質疑p 4 / p 5 | 委員会レポートp26 / p27 |
| 平成16年度補正予算p 6 | 傍聴席から・編集後記p28 |
| 一般質問p 7 ~ p23 | |

長田市長



行政報告

行政改革の取り組み

は去る十月に中間答申を受け、委員会の趣旨に添った「吉岐市行政改革大綱」メインテーマを「持続性のある発展の礎となる吉岐の改革」と定め十一月に策定、平成十六年度から二十年度の五ヶ年を対象とし、「実施計画」を早急に策定し、一日も早く時代に対応した効果的、効率的な行政経営を推進する。

本年度は、全国の過疎市町村において平成十七年度から平成二十一年度にかけて実施される後期過疎地域自立促進計画を策定することとされているため、市の過疎地域自立促進計画（後期計画）を策定し、過疎対策に取り組み、過疎地域の自立と活性化に向けた取り組みを行う予定。

勝本町自給肥料供給施設（し尿処理）の

用地造成は、約六千㎡の建設用地が完成、建築実施計画書の精査、機械設備等の設計の検収も終わっており、早急に入札準備を進める。



用地造成が完了した勝本町自給肥料供給施設建設予定地（勝本町本宮西触）

農林災害は、四つの

台風の接近により園芸施設、水稲、野菜などの被害総額が約七千万円、また豪雨による農地、農業用施設災害は、農地災害七十五件七千九百四万四千円、農業用施設災害十七件四千六十八万円、合計九十二件一億一千九百七十二万四千円の査定を

受け、査定率八二・五割であり、復旧工事に早急に取り組んでいる。

米の集荷は十一月現在で、総袋九万五千五百五十九袋で、一等米の比率は三二・二割となり、早期米は七月から八月の高温障害。普通期米については、台風の被害によるもの。

葉たばこについては、販売額七億五千三百四十八万円と昨年比一一・九割となり、キ口あたり二千九円、十ヶあたり四十七万五千二百三十三円と、概ね目標通りの結果。

畜産については、子

牛価格の高値安定の続く中、「家畜の排泄物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」が、本年十一月一日から完全施行され、一定規模以上牛

十頭、豚百頭鶏二千羽の畜産農家については、

家畜ふん尿、堆肥の野積み、素堀をすると行政処分が科せられることに伴い、対象農家の巡回調査を関係機関と連携し十二月中旬をめどに実施する。



霞翠幼稚園児によるタスキの装着（勝本町和牛振興大会にて）

水産業については台

風二十三号の波浪により、諸津漁港（竹ノ浦地区）の消波提三百十坪の内、ケーソン百七十五坪に被害を受け、県に災害の届け出をし、その復旧に向けての事務手続き中。今

定例会に災害原因と被害状況測量、被害額算出の調査費の予算を計上して

土木課事業については

は、繰越工事は早期完成をすべく努力しており、平成十六年度の補助事業新規路線は測量設計に着手、起債事業は四路線を工事施工中。単独事業についても、十三路線に着手、また早期に整備を要する一路線の追加予算を計上しており、都市計画事業のまちづくり交付金事業の道路整備も工区発注を公共土木施設災害についても、河川災害二地区、道路災害五地区の復旧予算を計上している。

簡易水道事業は、芦

辺管内の箱崎、国分地区の基幹改良工事については、予定通り進捗しており、郷ノ浦管内の三島海底送水管布設工事についても、今議会に工事請負契約締結の追加議案を提

出。

下水道事業については、中央水処理センターは、中央水処理センター本体工事、下水道管渠工事も順調に進捗しており、夜間工事区間も完了。



建設が進む中央水処理センター

漁業集落排水整備事業は、瀬戸地区の排水管の布設工事、及び管路布設後の道路舗装工事を施工中であり、排水処理施設の進入道路の計画は、国県と工法協議の結果、集落道として取り扱い、特別会計から一般会計への予算の組み替えへ。

幼稚園教育に関して

は「預かり保育」に対するアンケートを実施し、その結果保護者の意向をふまえ、「預かり保育」を十七年度から旧四町各一園ずつ実施する方向で具体的な取り組みに入っている。

病院事業については、現在十一月末)全体の進捗状況として五六・一割の工事状況であり、平成十七年五月オープンに向け、現在準備している。

災害及び消防防災業務については、本年一月から十一月十八日までの火災件数は、四十九件、昨年同期比二十五件の増。市民各位の危機管理意識の高揚と防火思想の普及徹底を進める。また、三島地区の各防火クラブ員五十三名全員を、平成十七年一月一日付け消防団員として採用する。

第4回壱岐市議会定例会



第4回壱岐市議会定例会の様子(12月13日)

平成十六年第四回壱岐市議会定例会は、十二月三日から二十一日まで十九日間の会期で開かれ、本年度一般会計補正予算二億五千二百十万六千円、

特別会計補正予算六千八百五十万円をはじめとする議案二十六件、決算認定六件、請願、陳情、要請等含む四十四件を審査した。

三日は議長の諸般の報告、市長の行政報告に続いて議案の上程、それについての説明がされた。八日は、上程議案への質疑、予算特別委員会、決算特別委員会の設置、各常任委員会への議案及び請願等の付託、九日、十日、十三日は一般質問が行われ、三十三名が登壇した。十四日、十五日は常任委員会、十六日は予算特別委員会において、一般会計補正予算の審議、十七日には決算特別委員会が行われ、最終日には議案三件、発議一件が追加上程され、一般会計補正予算をはじめとする上程された案件のうち、議案第七十六号、第七十七号が否決。陳情第八号、第九号が不採択。決算認定六件、要請一件、要望一件を継続審査とした。以上を除き、全て原案のとおり可決した。



風力発電（芦辺町箱崎諸津触）

吉岐クリーンエネルギー株式会社経営報告

Q 退職金が百万円程度支出されているが、何名の方が何年でいくらののか。

A 社内の役員退職慰勞金支給規定により、取締役一名に八十七万二千五百円、監査役一名に十二万九千三百円。在任期間二年以下は退職金なしと

なっている。

Q トラブル補償金千四百十四万二千円となっているが、誰が支払うのか。今後補償してもらえるのか。

A 高調波によって電気が止まるというトラブルで、これについてJFEホールディングス(株)という会社から補償してもら

らっている。今後についても補償してもらえるかと解している。(JFEホールディングス(株)とはNK(日本鋼管(株))と川崎製鉄(株)二社が合併したものの)

前納報奨金廃止否決

議案第七十六号吉岐市税条例の一部改正及び議案第七十七号吉岐市税等の徴収等の特例に関する条例の一部を改正する条例について、

要約 今まで実施されていた前納報奨金制度を十七年度と十八年度を二

分の一の金額にし、十九年度より全廃するとした。**Q** 行財政改革からして当然、十八年度から廃止してもよい。これによって年間いくらの節約になるのか。

A 現在ではほとんどの市町村で廃止をしている。単純計算で廃止すれば約五千二百万円節約になる。

Q 前納制度の利用者はどのくらいか。

A 一期分からすると約四割となっている。

Q 前納報奨金を廃止した場合、徴収率が下がることが懸念されるがその対策はできているのか。

A 未納が増えるのではと心配しているが、それに対する対策は今のところ検討していない。

質疑

農業委員はどうなるのか

A 在任特例期間満了後(平成十七年三月一日)の農業委員の総数は三十名。その内訳は選挙委員二十三名(郷ノ浦町七名、勝本町五名、芦辺町七名、石田町四名)、他に農協推薦一名、共済組合推薦一名、土地改良区推薦一名、議会推薦四名となっている。

議会推薦農業委員

- ・吉永智佐子
- ・田口 幸男
- ・長島 清和
- ・赤木 英機

行政改革推進委員会の今後はどうなるのか

A 今まで八回ほど委員会を開催し、十月に中間



平成17年1月1日付で郷ノ浦町消防団に昇格した三島婦人防火クラブ(郷ノ浦町消防出初式にて)



有機栽培米の刈り取り（石田町筒城仲触）

答申がなされた。今後は月一回程度の開催予定。

A 女性消防団誕生とは

A 郷ノ浦町三島地区婦人防火クラブ五十三名が平成十七年一月一日に郷ノ浦町消防団に昇格した。

A 防火水槽設置計画はどのようになっているか

A 今回の補正で次の地

区に防火水槽が設置される。郷ノ浦町、長島、小牧東触、初山西触、芦辺町深江南触。

A 有機栽培米等推進事業補助金とはなにか

A 吉崎市農協が行う長崎米づくり改革事業である。安全、安心な食味のよい米を生産流通させるための助成制度で三百十

議会で

七戸、面積で八百三十畝の取り組みをするもの。

A 集落営農担い手支援事業とは

A 長崎食と農支援事業による補助事業で、今回勝本町の丘中田地区、大坂地区の機械利用組合がコンバイン。吉崎市農協農地保有合理化事業にトラクター。勝本町新城機

械利用組合のトラクターの導入に対する補助金である。

A 今後の原の辻関係事業計画は

A 二万平方メートルの敷地造成設計委託料二千五百八十三万円。敷地購入費二千二十七万七千円が合併特例債で充てられる。保存整備に五ヶ年で約二十億七千万円、その内国費が半分と想定。

基本構想では、博物館の建物面積は約四千平方メートル、予算は二十億とも二十四億とも。全体事業費についてははっきりしていない。

A 一般廃棄物処理基本計画検討委員会とはどのようなものか

A 委員については各常任委員長四名、厚生常任副委員長、各町公民館連絡協議会の代表四名、既存施設の地元代表三名、

環境問題を考える会から二名、学識経験者一名合わせて十五名を予定している。協議内容については、一般廃棄物処理施設の整備、その中には、資源化・減量化・環境負荷・経済性・新設規模の適用性・技術の安定性・それと建設面積・運転管理の容易性・処理対象物への適正等。

市内の国土調査はどこまでできているか

A 郷ノ浦町九〇パーセント。勝本町九二パーセント。芦辺町八六パーセント。石田町百パーセントである。全体で九〇パーセント。



芦辺町クリーンセンター（芦辺町住吉東触）

12月補正予算

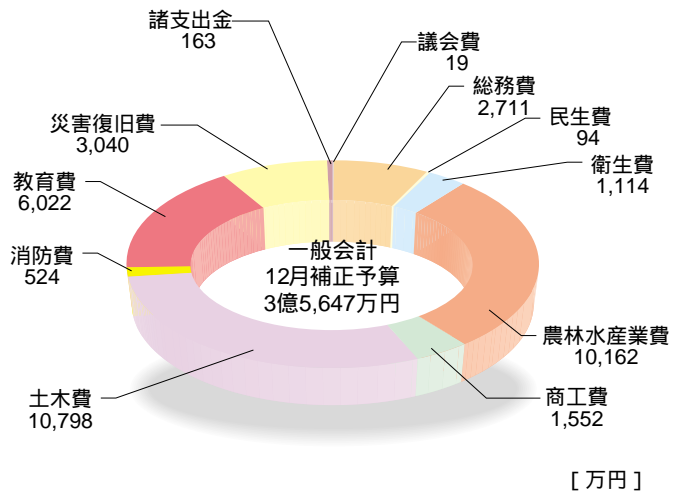
どうなる?原の辻関連事業

主要事業一覧

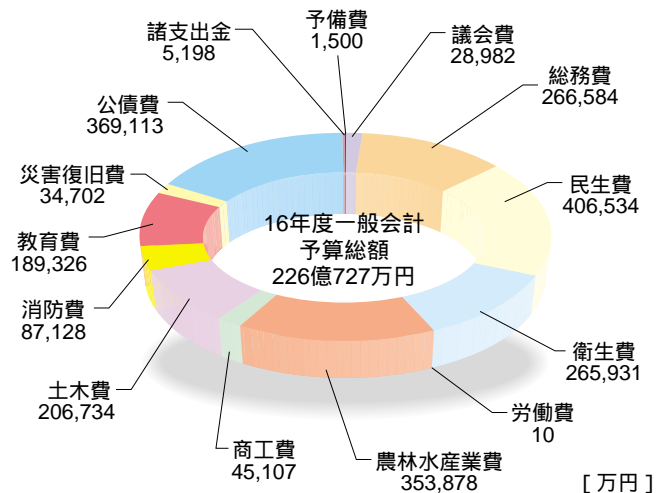
一般会計 (万円)

| | |
|---|--------------|
| ながさき食と農支援事業 | |
| 地産地消型農産物供給支援事業補助金 (苓岐ゆず生産組合小型充填機、アグリプラザ四季菜館管理機器) | 126 |
| 集落営農担い手支援事業補助金 丘中田地区機械利用組合 コンバイン、初搬送機 大坂地区機械利用組合 コンバイン、格納庫 新城東地区機械利用組合 トラクター1台 苓岐市農業協同組合 トラクター1台 生産振興総合対策事業費補助金(無人ヘリ2機・オペレーター) | 1,351 |
| | 1,647 |
| 産地づくり推進対策事業 | |
| 有機栽培米等推進事業補助金 | 1,000 |
| 農村総合整備事業 | |
| 畑総管布設替補償費(中野郷西地区・中野郷惣清3地区) | 1,544 |
| 水産業振興総合対策事業 | |
| 新規就業促進事業(技術指導支援事業、漁業後継者確保促進事業) | 93 |
| 苓岐地域栽培センター(仮称)取水管敷設工事 | 1,050 |
| 漁村活性化推進事業(シーカヤック10艇購入) | 120 |
| 新世紀水産業育成事業費補助金 (漁業秩序維持対策事業:勝本漁協) | 195 |
| 水産業創出事業補助金 (意欲ある漁業者グループ実践活動支援事業:箱崎地区) | 250 |
| 集落道整備事業 | |
| 5号集落道整備工事 L=135m | 2,000 |
| 市道維持補修事業 | |
| 市道維持補修・ガードレール補修・カーブミラー新設 錦山尻線(石田)区画線工事外 | 800 1,000 |
| 道路改良事業 | |
| 測量設計業務委託料(単独) 本村神里線・内坂線・久垂線 | 1,950 |
| 測量設計業務委託料(起債) 谷江本線・第二中谷線 | 1,093 |
| 公営住宅整備事業 | |
| 今宮団地敷地造成工事等 | 1,100 |
| 防火水槽新設事業 | |
| 小牧東・長島・初山西・深江南地区 (設計委託、工事費、用地費、補償費) | 1,610 |
| 農村環境改善センター改修工事 | |
| 雨漏改修工事 | 1,123 |
| 県立埋蔵文化財センター等整備事業 | |
| 敷地造成設計、用地購入費追加 | 4,611 |
| 漁業用施設災害復旧事業 | |
| 竹ノ浦地区養殖場施設災害復旧工事調査設計 | 1,260 |
| 公共土木施設災害復旧事業 | |
| 市道、河川等災害復旧工事 16ヶ所 | 1,680 |

12月補正予算内訳



一般会計予算内訳



| | |
|-----------|-------------|
| 一般会計12月補正 | 3億5647万4千 |
| 予算総額 | 226億727万4千 |
| 特別会計12月補正 | 7206万6千 |
| 予算総額 | 139億5971万4千 |
| 補正合計 | 4億2854万 |
| 16年度予算総額 | 365億6698万8千 |



一般質問



議員33名が 市政を質す!

大浦 利貞 議員



Q 高齢者スポーツの奨励と援助

介護保険・国民健康保険は共に被保険者と自治体の負担増となる見込みであり、病气予防・介護予防の施策が必要。高齢者に高齢者向けのスポーツを奨励して欲しい。スポーツをやっている高齢者はよく歩き、頭を使うので元気である。また金銭援助も必要。島内で開催される大会にはタオル程度の参加賞を出し、旧四町の助成金は高い方の水準で調整されたい。

A 長田市長

高齢者のニーズも多様

化しており、全員の意向にお答えできるよう調整を図り、社会体育スポーツとして推進と指導員の育成も関係部署と連携を図りたい。参加賞についても今後十分考えたい。

Q 三歳未満児保育の拡充

三歳未満児の希望が多くなり保育所は満員。来年度から予定している幼稚園預かり保育は保育所四・五歳児の希望者も受け入れて実施して欲しい。そうすれば保育所三歳未

満児保育の定員増が可能になる。

A 須藤教育長

幼稚園の預かり保育については、本年七月のアンケート調査の結果をふまえ、十七年度から旧四町で一園ずつ実施する方向で諸準備を進めている。保育所の年長児の幼稚園での預かり保育と小学校低学年の学童保育については、今後の調査研究としたい。



輝く笑顔のこどもたち（武生水保育所にて）

豊坂 敏文議員



集落育成強化し組織的な法人化することに対し、具体的な市長としての方策は。

A 長田市長

Q これからの農業は組織的に！
農業後継者不足に伴う地域営農を活性化させるために具体的なソフトの振興策について伺いたい。六十五歳以上の就業率五六割、県平均が四七割と比較しても高齢化率が高い。島内ではすでに二十一世紀圃場整備地区に於いて水田集落毎に、集落営農組織が形成され運営されている。また、JA吉岐においても、独自の農業生産法人「有限会社アグリランド吉岐」が十月より発足され活動中である。この様なことから、今後これまでの機械利用組合等の育成を図り、

農業のあり方については、多様な担い手を確保する観点から、集落営農や機械利用組合などの育成や規模拡大、また採算性を考慮した経営、法人化も視野に入れた取り組みが必要。

Q 職員等の給与格差は正の進捗状況はいかに？

A 長田市長

家畜診療所嘱託職員の時間外手当については、旧町からの任用条件を引き継いでいる。したがって時間外業務については、正規の職員で対応する。

A 須藤教育長

給食職員の給与については、旧各町での採用時の条件が異なる、不均等が生じている。現在調整中である。



(有)アグリランド吉岐 (芦辺町国分東触)

長山 茂彌議員



Q 急務！庁舎建設

行革委員会の間答申は「行政機能を集約し、本庁と支所の役割分担を明確にし、市民に判りやすい体制を早急に、また新庁舎までの交通アクセスを配慮し」との報告である。市長は合併協議会での決定事項を尊重するということであるが、亀石地区であれば諸条件は満たしていると思うが。

Q 合併後の住民サービスは？

合併して、行財政運営がスムーズにでき、住民サービスは低下させないとのことだが、できているか。

A 長田市長

住民サービスについては、合理的な組織機構体制に最善の整備を行うべく住民サービスに配慮しながら業務を本庁体制に集約し、本庁及び支所間の機能分担を見直すとともに職員の削減（自然削減）などにより、行財政改革に取り組む。

Q 二階は危険！

現在、農業委員会の窓口業務は石田支所の二階で行われているが、分かりにくく、特に高齢者にとっては危険である。早急に一階に改善すべきではないか。

A 長田市長

各支所に分散している業務の見直しは、当分空きスペースの有効活用で対処したい。



階段を上って農業委員会へ（石田支所にて）

今西 菊乃議員



Q 男女共同参画

社会経済情勢の急激な変化に伴い一九九九年に男女共同参画基本法が制定された。男女共同参画社会の推進は重要な政策課題である。吉岐市に於いても女性の一般行政職の管理職、特に部課長はいない。今までの、封建的社会の中で女性の社会進出が出来ずに育たなかった事もあるが、市の今後の対応は。

A 長田市長

男女共同参画社会に女性の高い潜在力を秘めながらも、その能力は社会に十分活かされておらず、

このような状況からも、個性、創造力、価値観を持つ女性職員が個性、能力を十分発揮できる体制及び仕組みをつくり、能力に応じた女性職員の管理職登用を積極的に進めたい。

Q 環境問題

合併先進地と言うことで視察に見えた婦人会の方が「吉岐は空き缶やゴミがいつばいで汚い、観光地なら考えるべき」と言った。最近、道路や雑

A 長田市長

環境問題については十七年度予算を含め、観光シーズンに限定して、国道、県道、市道のバス路線について、業者委託で清掃に取り組みたい。

種地にポイ捨てが多くなった。環境問題に対しては誰にも知識はある。条例があっても関係ない市民。強化パトロールや業者委託の回収等出来な



吉岐もこころもキレイに (霞翠小学校吉岐一周ゴミゲッツ H16.8.3~6)

立石 和生議員



Q 福岡事務所その後

僅か一名のみの応募であった派遣職員を否定はしないが市長はかねてより観光、一次産業等により外貨を稼ぐ事を重視してあるが、早期実現となれば経験豊富な職員を派遣すべきと思う。また、事務所の活動状況等も含めて広報誌にて知らせるべきである。

A 長田市長

派遣職員は積極的・精力的に頑張っている。物産展の売り上げも伸びている。

今後は、福岡事務所からの情報を十分活用し、

農・漁協・観光協会との連携を図りながら吉岐市の売り込みと交流人口の増加を図りたい。広報は強化する。

Q 次年度土地評価替え

平成十八年度評価替えは不公平がないよう取り組むと明言されているが旧郷ノ浦町は平成六年度以降、九年、十二年、十五年評価替えが実施されている。しかし平成六年度の標準宅地に全く触れていないため見直しは不正確で、評価替えをむか

A 長田市長

固定資産税の見直しは適正になされている。十八年度の評価替えは市のもととなる評価基準年度であるから総務省告示の固定資産評価基準に基づき地価公示価格、不動産鑑定士による鑑定評価から求められた価格等を活用し、評価の均衡・適正化に努める。



観光物産展「吉岐フェア」で吉岐をPRした吉州おけさ踊り隊のメンバー (博多駅にて H16.11.20・21)

品川 洋毅議員



Q バランスシートの導入を！

自治体の会計は公会計方式で実施している。そのため会計認識が低いと思う。平成十五年度決算では、一般会計、特別会計合わせて、約三百四十六億円の市債残高になっている。資産、負債の関係が不明のため、不安である。この際、企業発想をもつため、バランスシートの導入を検討したかどうか。赤字債権団体にならないためにも。

A 長田市長

まだ勉強段階だが、財政という地図の中で、今

どの場所にいるかをあらわすバランスシート。損益計算書である行政コスト計算書。お金の流れをあらわすキャッシュフロー計算書の開示を目指し、準備をしている。

将来の行き先を決める一つの基準だから、是非実現させたい。



スマトラ沖地震 象も復興のお手伝い (インドネシア バンダアチエの村にて)



鵜瀬 和博議員



Q 大丈夫か？ 危機管理体制

今年、度重なる台風接近等自然災害により各

地に多大な被害を受けた。吉岐も例外でない。いつ発生するかわからない自然災害、原子力災害等に対し市民の生命、身体、財産を守るために迅速且つ適切に対処出来るよう防災行政を総合的、計画的に推進することが重要です。神奈川県二宮町のように備蓄コンテナを配備し、職員一人一人まで配置したマニュアルを作成し、いつでも対応できる体制をつくる必要がある。吉岐市防災計画はいつまでに策定するのか。また、緊急避難地図の作成や高齢者世帯の避難対策、ボランティア受入れ態勢、国民保護法との関連はどうか。

市内の各学校の安全管理や防犯体制、応急避難場所としての機能、計画はどうか。

A 長田市長

地域防災計画を十七年五月をめどに作成する。内容は、一、総則 二、風水害対策。三、震災対策。四、資料。とする。避難場所マップを作成し、各家庭に配布する。高齢者には、現在のところ台風接近時の自主避難の手伝いをしている。避難誘導には消防団、地域住民の協力を願う。国民保護法は、国が十六年二月に基本方針を公表、十七年に県が計画作成、十八年に市の計画を作成する。

A 須藤教育長

学校体育館を応急避難場所とした場合、不便が多い。防災計画策定作業の中で、バリアフリー化等、積極的に現場の意見を述べる。

横山 重光 議員



Q 滞納対策は

市民税をはじめ各種の税及び水道料金の延滞金が多くある。平成十六年度はさらに増えている。現在、国の財政引き締めで公共工事が削減され、中高年の働く場所がない。また漁業の不振で漁業者は生活に困窮していると聞く。何か対策を考えるべきではないか。

A 長田市長

税、使用料等の対策は各担当課の情報交換の場を持って、市民との面談が基本と思っている。漁業者については行政では

無理なところもあるので、組合の方で思っている。

A 浦税務課長

滞納状況は、市税二億五百万円。国民健康保険税二億四千五百万円となっている。納付相談に応じない滞納者に対しては財産の差し押さえなどの処分も行う。



お元気なベテラン漁師さん（勝本港にて）

榎原 伸 議員



Q 私の合併特例債

吉岐での合併特例債は百五十九億円といわれている。合併特例債事業とそれの予算について、私見を述べると、ゴミ関連事業百億円。本庁舎事業十億円。基金の積立や他事業十億円。すでに承認済の事業約二十億円。合わせると百四十億円となる。残された原の辻関連事業は残りの十九億円。乱暴な試算だが、市長の考えは。

A 長田市長

ごみ問題が最も緊急性を要すると考えているが

財政状況を考慮しながら緊急性、必要性を十分勘案して検討したい。

Q 補助金は？

補助金、助成金の見直し作業について、先月、各種団体に対して平成十七年度補助金要望書の提出という文書がまわった。そのような事務的なこと

A 長田市長

補助金は、平成十六年度当初予算で二百八十四件、十七億円余り。交付する団体等の活動をよく把握し、事業効果の追跡調査を行い、平成十七年度中にはすべての見直しについて検討をしたい。



勝本町し尿処理施設（合併特例債事業）建設予定地（勝本町本宮西触）



Q 都市計画指定区域

先般岳の辻園地整備事業を進めるため、雑種地買収を行ったが十⁷坪当たり百万円を支出された。島内の買収価格の三倍である。計画区域で高値と聞いたが指定区域を廃止出来れば不法な高値は解消できる。又、現状の売買では都市計画税の廃止は不法行為といえる。

A 長田市長

都市計画指定区域だから高い訳ではない。近隣の売買実例や評価額に基づいて価格を決定している。指定区域廃止を検討

する事は現段階では無理。都市計画税は目的税、税の廃止と都市計画区域廃止とは根本的に違つ。

Q ふるさと創生資金は？

平成五年に四町が二億二千五百万円を拠出し県の助成一億円を合わせ十億円の原資で事業を行ってきたが、現在サイクルフェスティバル事業だけである。十年間の基金取

A 長田市長

取り崩しの条件は満たしている。総務省に協議し承認を受ければ可能。今後取り崩しを視野に入れて検討する。



Q 災害弱者を未然に防げ！

今年は大変な災害の年であった。災害のたびに弱者と言われる老人が多く犠牲になった。この弱

者を災害時にいかに避難させるか、救出するかは盛んに検討されているが、独居老人、老人だけの家を作らないことが最も大事な防災ではないか。消えつつある三世大家族、これを取り戻す事こそ最大の防災だと思う。そのためには三世大家族作りに助成することだ。ちなみに今吉崎市では、保育園入園児一人当たり百万円、老人ホーム入居者一

A 長田市長

若者の流出による過疎化や核家族化が主な要因。後継者づくりに多様な担い手を確保し、地域の活性化を図ることを基本として諸施策を講じ、若い者が後を継いで行けるよう頑張る。



岳の辻園地の様子

町田 正一 議員



Q 福岡への緊急搬送の問題点

島民の悲願である福岡市への緊急搬送については、福岡の済生会病院がいつでも引き受け可能を表明しているし、海上自衛隊の搬送体制も問題ないはずである。地元の医師会の意見統一や、対馬との合同の運動が是非とも必要である。

A 長田市長

行政区の違いが大きな障害である。もし、負担金を出せば搬送が可能かどうか福岡搬送を働きかける。対馬と協力体制を取る必要もある。

Q 公立病院の管理体制

厚生委員会から、公立病院担当役をおいて責任体制を明確にするように申し入れてあるが、未だに回答がない。行革に反するということであれば、市民代表、病院、議会、理事者側を含めて、少数者での経営委員会を立ち上げてはどうか。

A 長田市長

病院経営体制は現在の体制で形としては出来ている。今後の課題として改良の必要がある。経営委員会は良いアイデアである。二つの病院の組織替え、統括する責任者の配置も検討する。



海上自衛隊大村航空基地の隊員による救命生存訓練の様子
(平成15年7月 石田町筒城浜にて)

町田 光浩 議員



Q 地域情報化

地域情報化が全国で最も遅れているのは長崎県であり、中でも最も遅れているのは吉崎市。市長はこの現状を認識しているか。調査・研究に携わる専門部会を早急に立ち上げるべき。情報化に伴うセキュリティポリシーに関する市長の見解は。全国的に急速に情報化が進む中こちら側の整備が整っていない。いかに関わらず情報化の波には吞まれて行く。職員一人ひとりが自覚できるような、セキュリティポリシーの作成を。

A 長田市長

高速通信回線等のインフラの整備が必要。NTTと協議を重ね情報提供をいただき、経済効果等も考慮し積極的に推進、努力する。吉崎市個人情報保護条例により市民の個人情報の保護に重点を置く。

Q 一支國博物館

問題はランニングコスト。国・県の直接的な支援は期待できない。計画作成時には必ず、三年から五年間の収支予測を入れるべき。

A 長田市長

原の辻は色々な波及効果もある。一部施設を共用し市の負担軽減を考え、国、県に交渉中。



(仮称)一支国博物館建設予定地(芦辺町深江鶴亀触)

吉富 忠臣 議員



健康日本二十一の計画に基づき、芦辺町では、いきいきあしべ二十一の計画をたて、四つの部会に分かれて予防策について実践活動をしてきた。今後の取り組みは。

Q 環境基本計画

ゴミ処理施設、し尿、不燃物各処理場の用地取得、ゴミ減量化の推進、不法投棄に対し住民の意識改革をどの様に計画しているか。庁舎も含めて一ヶ所に集約をできないか。

A 長田市長

廃棄物施設用地の選定及び処理方式等は一般廃棄物検討委員会で協議する。ごみ減量化は市で統一して分類を徹底している。不法投棄の住民意識改革は根気強く努める。

Q 医療、福祉分野での予防対策

A 長田市長

医療分野は予防の時代に突入した。食生活の改善と日常生活での運動を柱として環境整備と指導者の育成に力を注ぎたい。

Q 管理者は全国公募を!

徳島県の半田病院研修で当院長の説明を聞いて病院経営委員会等の設置の必要性を感じたが。

A 長田市長

病院管理については、「かたばる」「公立」の一体的な経営を考えている。医師にも通じる経営手腕をもった責任者を一生懸命検討中である。

Q 救急救命士有資格者採用

A 長田市長

消防吏員は、救急救命有資格者が合格すれば採用する。

Q 航路対策協議会、その後の対応

A 長田市長

博多埠頭の渋滞緩和については、福岡市は中央埠頭への変更を考えているようだが、現在の場所での緩和策を陳情した。

山下 正業 議員



Q 合併後の事業

老人ホームに入れず困っている人が多い。介護保険・国民年金保険の利用内で入所でき、楽しい老後を送りたいが対応は。

Q 吉岐市の危機管理

今年、風害の多い年だったが、本土のように人命にかかわる事はなかった。事故や災害はいつ起こるか予測がつかない。原発について吉岐市としての条例

A 長田市長

護国五で月額四万五千二百二十九円、四で四万三千五百九十九円、待機者は約九十人である。現在百床を有し、光武病院が六十床増床中である。市としても増床を要望中である。減員による不都合は地域審議会制度を活用し、旧四町より各十五名の委員を委嘱している。看護師の対応については、患者の心が和むような教育を進める。原子力発電所の事故に関しては、旧四町の地域防災計画には記載されていない。長崎県地域防災計画で対応している。



かたばる病院

A 長田市長

合併して市長一人になりこれから議員農業委員も削減して淋しい気がする。職員とつながりを持ち、農漁業の育成で活気あふれる地域づくりを。原の辻遺跡は予算の問題が多いと思うが出来るのが楽しみ。観光を売り出すなら笑顔で挨拶できる職員を育てたい。



吉岐市老人ホーム（勝本町本宮南触）

市山 和幸議員



Q 公立病院跡地は？

十八年の建築で老朽化がひどく使える状況ではない。本館については新築移転後の有効活用は望めない。移転後は解体し、跡地は当面駐車場にしたと考えている。精神病棟が五十一年、西病棟が五十四年、リハビリ棟が六十二年建築で使用でき

る。とりあえず改修して庁舎の一部として活用したい。庁舎の狭隘を少しでも解消したい。リハビリ施設だけなら別個の場所に作った方がいいような気もする。福祉についても地域的にまとめて総合的な考え方が必要と思う。

移転後の有効活用については、具体的な構想があるのか。多数の市民の要望がある介護予防のためのリハビリ施設と特別養護老人ホームの増設について。国の方でも今後の高齢化社会を考え介護予防制度の改革を検討中である。吉岐の方でも今後の高齢化社会の増加を考慮されぜひ移転後の跡地に介護予防のリハビリ施設と特別養護老人ホームの増設を要望したいと思う。

A 長田市長

公立病院本館は昭和三



現在の吉岐公立病院

中村出征雄議員



Q 病院管理運営

九月定例会でも質問したとおり今後の病院経営は厳しくなるのは必至で大改革の必要がある。病院管理者または担当助役の選任は是非とも必要であり選任予定時期については、両病院の看護師等の給与格差是正についての将来全面的病院（公営企業法全面適用）指定の考えは、新病院の人工透析担当医師看護師等の確保状況及び看護師の研修予定について。

A 長田市長

公立病院は企業会計の一部適用である。管理者

を置けば公営企業法の全部適用となる。

看護師の給与は県離島医療組合取り扱い。見直しがあれば準じて是正する。かたばる病院の看護師は退職時の現給補償がなされている。人事交流による士気を考え、極力早急に見直すべきと思っている。

A 公立病院事務長

人工透析看護師は認定資格者を募集中。応募状況によっては福大に研修の手配を整えている。機種選定については未確定である。

Q 武道館建設

石田体育館は老朽化が著しく整備が急務と思うが、過疎地域自立促進計画のとおり建設費及び維持管理費の縮減からして武道館併設の総合体育館として整備しては、合併

特別償対象事業として整備できないか。

A 長田市長

石田町体育館は築二十八年経過、大会利用度が高い。老朽化のため建て替えの意見があるが駐車場の問題もあり、検討中である。武道館についても体協等と相談して進めたい。



石田体育館と石田保育所の子どもたち

小園 寛昭議員



Q ゴルフ場の出資、
会員権は？

吉岐カントリー倶楽部
への出資は、十八ホール
へ拡張するとの計画から、
四町で五千八百万円を出
資している。

Q ホーム燃料の
入札

老人ホームの燃料入札
に、従来から参加させて
いたJAをはずしている
が、その理由は。

拡張が出来ない場合、
出資は返還されるのか。
また、会員預託金は、
返還を求めている会員に
返還されていないのでは
ないか。

A 長田市長

合併後は基本的に旧町
での例により指名業者に
よる入札を行っているが、
老人ホームの燃料につい
ては旧町時代、入札では
なく地元業者と農協の協
議で月に分けて納入して
いた。官公需についての
中小企業者の受注の確保
に関する法律により指導
を受けており、現在入札
を外している。今後検討
する。

Q 報酬審の
あり方は？

合併協議会の報酬審議
委員会で、市長などその
他の報酬は、特例期間の
議員を基準にしているが、
実態と照らし、適当でな
いと考えるがどうか。

A 長田市長

報酬審議会の答申では、
その後においては改めて
検討することを希望する
と付記されており、十七
年度には特別職報酬等審
議会に諮問し、検討する。

A 長田市長

は何らかの
方向が見え
ると思う。
もし拡張が
なければ、
出資金の払
い戻し等の
必要はある
と思う。



吉岐カントリー倶楽部

立川 省司議員



Q 下水道
受益者負担金

合併後は受益者負担金
は取らないよう調整され
-過去に徴収した負担金
の還付が考えられる」と
されているがいつまでに
還付について判断が示さ
れるのか。

A 長田市長

合併後調整であり、旧
町での負担金、助成金等
の取り扱いが異なるため
にいろいろと検討をして
いるが、公平性が必要な
ため時間がかかっている。
早急に調整する。

Q 職員の資質の
向上

最近でも市税や国保税
の前納者等に対し、催促
電話や納付相談通知書の
送付など事前の納付及び
電話相手の確認不足等が
ある。また、市職員から
源泉徴収された税金を期
限内納付を遅延する等慎
重さや責任感の欠如が目
立っている。この様な事
では市民の納税意欲を後
退させる。

A 長田市長

再発防止を期し、職員
一人ひとりが公務に対す
る認識を一層
深めると共に、
全体としても
適切適正な職
務執行を行う
よう指導の徹
底を図るため、
部課長の意識
改革まで含め
て積極的に職
員の育成に努
める。

Q 工事の進捗状況

小林線道路改良計画が
進められ用地交渉も解決
し、予算計画もなされて
おりながら着工が遅れて
いるが。

A 長田市長

現在この地区は国土調
査が行われているため、
登記手続きが終わり次第
早期に着工する。



拡張工事が計画されている市道小林線(郷ノ浦町片原触)

小金丸益明 議員



Q 市P連に
支援を！

合併に伴い、本年五月より、吉崎市PTA連合会が発足した。従前四町と郡とに分掌されていた事務処理が一極煩雑化することとなり、新規に事務所を開設し、専任事務員の雇用で対応している。改編による著しい経費の増大に対しては、会費の倍額値上げで対応を検討しているが、目指す活動原資に充当できず事業の拡充が図れない状態と聞く。PTAの公共公益的な活動を再認識され行政支援を是非強化すべしと考える。

A 長田市長

各種団体に係る人件費等は、その団体の構成員の負担。原則として新規の補助金要望は認められないが、活動状況をよく把握して公平性に基づき検討する。

Q 指名業者の
選定は？

行政範囲の拡大に伴い四町の業者入札枠を撤廃し、入札、下請を市内業者に限定した長崎市方式を早期に確立し、市内業者の保護育成に努めるべき。

A 長田市長

旧町村の撤廃については、公共工事に求

められるより良い物をより安くの見解もあり、また各町間の事業量、予算配分の問題、資格業者関係等の調整から指名選定においての地域性の配慮は行つが、枠の撤廃はやむを得ない。平成十八年度頃からの撤廃を考えている。指名を市内業者に限定する長崎市方式も、当然進めていく。

坂口健好志 議員



Q 不法投棄防止
対策

関係機関で「不法投棄対策連絡協議会」を設立し、不法投棄一〇番の

べき。一方、島内の児童生徒やより多くの市民に奉仕活動に参加して頂き、意識改革を計り、ゴミを捨てない人づくりを進めることも大切。

A 長田市長

設置と監視パトロール体制強化を計り、公民館、職場等各地域で環境美化に積極的に取り組んで頂く等、行政で出来る対策を積極的

Q 公共施設建設の
システム作り

既に工事が進行中なのに色々な問題が議論される事があったが順序が逆だ。今後は企画立案設計の段階で市民、現場の人、議会等で十分審議し本設計に入る等のシステム作りが必要。場所も新庁舎の場合、益々進む車社会では広大な駐車場が必要不可欠。また、付随する施設も必要になる。狭い所に建設しても不便なだけで何の発展性もない。

A 長田市長

地元自治会、関係権利者、議会等への説明、意見徴収などについては、計画推進の段階ごとに行う。また、大型施設、特殊施設などについては建設委員会を組織し、より幅広い意見を求める。



吉岐教育会館内にある
吉崎市PTA連合会事務局

大久保洪昭議員



の悪化並びに貴重な自然環境保持のため、反対という立場に変わりない。

Q 吉岐周辺の海砂採取

水産の島であるにもかかわらず依然として砂採取が行われている。漁業者は魚を捕り収入を得るのが本来の姿である。砂採取により漁場を壊しながら漁場整備を要望するとは全くおかしな話である。県全体採取量の七〇割もの砂が吉岐海域で採取され漁場の荒廃、後継者が育たないのは当然の事。漁業者の意識改革が必要である。

A 長田市長

海砂採取は、漁場環境

今後さらに工法の検討や廃材の再利用などが必要

最小限の採取になるよう願う。今後、吉岐は資源管理型の漁業を目指すべきであり、自然環境を守る方向で一生涯懸命頑張りたい。

Q 島内観光地の荒廃

石田町錦浜の海水浴場は砂の流出・減少が著しく、海水浴場としては醜い状態である。シーズン前に早く対策を講じる必要あり。

特別保護区の勝本町辰ノ島の松枯れが顕著である。早く手だてを講じなければ、辰ノ島全体が駄目になる。早急に対応すべきである。

A 長田市長

錦浜の砂は、台風による被災等で森林付近まで侵食されたが、その原因は特定できていない。被害対策として、国の海岸防災林造成事業に取り組む。辰の島の黒松枯渇は、当該地域が自然公園保護区かつ文化財指定であり植樹は困難である。また、特別防除も実施できない状況であるが、今後関係機関との協議により可能となるよう努力する。



辰ノ島の松枯れの様子

平畑 光議員



Q 市有地の有効活用

旧勝本町保育所跡地は、約十年間放置状態にあり環境面でも問題がある。今後、整備を行い住民の広場として開放すべきではないか。

A 長田市長

保育所跡地の有効利用は、地元からも菜園への利用・ふれあい広場としての整備等の要望がある。今後、地域住民の関心や環境等考慮し憩いの場としての整理を検討する。

Q 積極的な企業誘致を

市の財政基盤確立には、優良企業誘致による人口増加が必要不可欠である。青少年に夢と希望を与える産業として、トヨタ自動車九州電子部品工場を郷ノ浦港にも近い深江田原地区への誘致計画はできないか。

A 長田市長

企業誘致については同感である。将来の財政基盤確立のため、また島の活力を取り戻すため色々と思いを巡らせている。今後、吉岐出身者の会合等で積極的に企業誘致に努める。

Q 住みよい町づくりを

天ヶ原地区の路面は、荒廃が著しく車椅子の使用ができないほど危険な状況である。また側溝も、排水が弱く水溜りができ、夏場には不衛生である。早急な対策を。

A 長田市長

天ヶ原地区は、路面の荒廃及び排水路の沈下も見られ、今年度は団地北側の排水路整備を実施する。今後、緊急性の高い箇所から復旧に努める。



旧勝本保育所跡地（勝本町坂本触）

長島 清和 議員



Q ゴミの不法投棄問題

廃棄物空き缶等の散乱が目立つ。この状況は観光の島「吉岐」とは言い難い。不法投棄の問題は早急に解決を図らなければならぬ課題と思う。知らないうちに自分で処理不能な不法投棄を受けた場合、条例では罰則規定等はなく、土地所有者の管理義務に対して不法投棄者の責任が追及しにくい。市としての対応は自動販売機に回収容器が設置されてない所が多く見受けられる。ポイ捨て禁止条例制定の考えは。

A 長田市長

不法投棄・ポイ捨ては、観光立島を目指す吉岐市として汚点材料と認識している。住民への啓蒙政策は長年取り組んでいるが、一部の意識改革ができてないためポイ捨ても絶えず、観光客にも不快感を与えている。今後も粘り強く住民意識の高揚をしていく。不法投棄は減少傾向にあるが特定ができず、自ら処理不能なごみは市で対応する。また条例制定は、不法投棄連絡協議会や一〇番の設置、パトロールの強化等でまずは努力したい。

Q 市道の管理

今回の市道の幹線道路は市の方でしゅり切り溝揚げをする様になったが、公民館内の一路線との事である。今後はどう考え

A 長田市長

しているか。各公民館が館員こぞって道路環境の保全を行っており、ボランティア等による市民が一体となった取り組みを支援すべき。

市道の維持管理は、主要路線以外は地域自治会でを行うよう調整を進めており協力をお願いする。また支援については、県民参加の地域づくりとして県民共有財産の愛護団体登録制度があるので、その活用をしたい。



放置された車

東谷 伸 議員



Q 障害者福祉

「長崎県障害者基本計画」では、知的障害者入所（宿泊型）更生施設が吉岐だけ施設整備されていない。また、吉岐の知的障害者は二百三十四人で、吉岐に入所施設が無いために五十七人が島外へ出ている。この厳しい現状を知りながら、吉岐市に施設の整備計画すら無いのは行政の怠慢であり、弱者の視点に立っていない。今後、弱者の声に耳を傾けて住民サービスを行ってほしい。そして早急平成二十年までに、知的障害者入所更生施設を行政が設置すべきである。

A 長田市長

知的障害者入所更生施設の実施すべき数値目標は（平成二十年度まで）三十人に対してゼロということが必要性感じている。積極的に考えたい。

Q 一支国博物館

この事業も「吉岐市行政改革大綱」の視点に立って（運営コスト面の

A 長田市長

施設を行政が設置すべきである。検討、住民参画のあり方等）慎重に計画すべき。

市民からの意見や情報を提供して頂くため、パブリックコメントを実施する予定。適切な運営に向けては、利用料をはじめ、指定管理者制度の導入や部分的な外部委託など検討し、将来子供たちに負の遺産を残さないよう、また、原ノ辻が吉岐に出来て良かったと言われるように頑張りたい。



結 吉岐福祉共同作業所にて



Q 市の防災対策

今年は、台風、地震、豪雨等で日本各地に被害が出ている。また、吉岐においても過去に台風、豪雨等で多くの災害も発生している。吉岐の街部以外の住居裏はほとんどが山林、崖という地形であり、大雨等で崩落の危険性がある場所が数多くある。その防止策として行政からの支援制度が必要と思う。復旧についての補助制度はあるようだが市長の考えは。また、災害が発生した場合、そのおそれがある。避難の指示、勧告、場所等の詳

しい情報提供の市民への周知体制づくりはどうか。なっているのか。

A 長田市長

住宅背後地の災害防止事業は、防災計画で指定して行うが、個人の家の裏山は自己責任が原則で

ある。しかし背後地が森林の場合は状況に応じて県、国の制度を活用することもある。災害発生が予想される場合や災害発生の場合は状況判断の上、必要に応じて防災無線で周知したいと思っている。



自然災害防止工事竣工写真（勝本町新城西触）



Q 働く若者に住宅を！

市営住宅となつて、入居の選考基準は変わったのか。

現在N.T.Tの大神官舎を買い受け利用しているが申込者に対応出来ない状況である。若者の安い給料では民間の住宅を借りるには負担が重すぎるが、吉岐に残って働きたい若者に市として改善策を求める。

A 長田市長

住宅入居者の選考基準は、合併前の旧四町と同じであり、若者向けの住

宅は補助金等がない。今のところ考えていないが、島（渡良三島）という特性があるので今後勉強したい。

Q 漁民に支援策を！

現在の漁業は、無制限の輸入、魚価の低迷、高齢化による水揚げ高の減少。今年は特に価格の下落に重なり、燃油の値上げにより益々漁民の経営状態は悪化するばかりで

ある。吉岐の漁業を守るためにも基金を積み、一定の金額の運用による低金利での、エンジン購入、運転資金等の支援策は出来ないか。

A 長田市長

沿岸漁業者の経営や生活の改善及び青年漁業者の養成を図ることを助成するための制度として沿岸漁業改善新制度があるので活用してもらいたい。



若者に提供できるか？(今年3月末完成予定の今宮住宅)

橋本 早苗議員



Q 吉岐の
教育行政は今！

吉岐の小・中学校は市制施行に伴い新たな教育行政機構の下に統合された。施行後の現状と課題について伺う。

事務所の見直しや工夫の余地はないか。

三、学校予算は各校の実情を十分聴取しなければならぬ。予算編成に伴う一連の方策に課題はないか。また、教育予算における学校教育費の重要性についてどう考えるか。

A 長田市長

一、学校に関する仕事内

容は、本庁の学校教育課が取りまとめている。

事務所では生涯学習、幼稚園、給食センター等の業務をやっている。二、各町事務所は、教育委員会の協力機関の要素が強いと思っている。三、教育予算は、少子化の中でも単純計算の削減になじまない。限られた財源の中で質を落とさないよう努力する。

一、総務課の主施策は教育行政の充実と教育環境の整備であり「豊かな人間性と確かな学力」を目指す教育推進は、学校現場との綿密な連携が必須。この点で、不備、不足、改善点はないか。



改修工事中の八幡保育所

医師の招聘で苦勞していると言いながら片方では患者の信頼も熱い医師を辞職させたりしている。過去にも医師の引き上げの話は数回あり、議会も派遣選択肢の幅を広げよう具申している。全く過去の反省に立った経験が生かされていない。跡地利用については観光会館の轍を踏まないように当面駐車場にすることに よって市民の利便性は向上する。跡地利用検討委員会の設置も視野に。

近藤 団一議員



Q 病院事業関連

病院経営について、院長をはじめ医局会でも頑張っているようだ。派遣医師について、九大の方では今の状況では希望者がいないと言っている。公立病院跡地利用については検討委員会等の設置も考える。

A 長田市長

発言の内容については検討後、市政への反映など市長も執行部も最大限の努力をすべき。発言軽視の姿勢は結局市民軽視ではないか。民間出身の市長の即断即決に期待したい。

Q 聞け！市民の声

議員の発言は市民の代弁者としての発言であり当然重要視されるべき。

A 長田市長

議員の発言については、部長会等でその都度検討を重ねている。今後はその経過報告をするよう周知徹底する。



観光会館跡地にできた駐車場

菊田 光孝 議員



Q 大切な水資源

平成六年の渇水以来、対策に不安が感じられるが下水処理水や雑排水の再利用、雨水利用などの促進、渇水時におけるマニュアルの策定などが必要では。市の五十一本の水源のほとんどは地下水だがその形態が壊れると再生までに相当な時間を要する。地下水位の観測体制の充実を図り地下水保全に関する条例の制定を検討すべきでは。

A 長田市長

増改良事業などを実施

しているがまだ十分とは言えない。今後も安心できる水資源づくりにとりくむ。再生水の利用についても今後再利用できる体制にしていきたい。マニュアル策定や条例の制定については、他地区の状況などを調査し勉強をしていきたい。

Q 人口減少と地域開発

次世代育成支援対策推進法は二〇〇五年三月までに将来の推計人口に基づく計画の作成を各自治

体に義務づけているがその進捗状況は。今後の地域開発は人口減少を受容し、壮麗な公共施設の林立ではなく様々な価値観とライフスタイルに基づいた空間の形成を目指しては。

A 長田市長

次世代育成支援対策については、現在アンケートの結果とその課題などを調査し、ヒアリングなどを行い計画を作成していく。



勝本ダムにて

田原 輝男 議員



Q 武道館建設は

現在利用している施設では、専用施設でないため怪我や体を傷めたりして危険な状況にある。今一度武道館建設に対する市長の考えを伺いたい。教育長は青少年に対する教育に武道がどのようなスタンスにあると思っているか。

A 長田市長

武道館については、石

武道館の建設場所・規模などを決定する上において合併特例債事業として短期間での英断を。

田体育館の建設とあわせて特例債で実施するよう調査をしている。なるべく早く建設をしたい。

Q スポーツ振興

今後の青少年スポーツ交流についてどのような支援を考えているのか。各種団体を招くことは交流だけでなく、観光人口の増加を図る最も低予算な方策であると思う。

スポーツ交流については、青少年の健全育成はもとより、交流人口も増え吉岐の活性化につながりたい。今後も支援をしていきたい。

A 須藤教育長

有名人を呼ぶのも結構だが各種団体に出来る限りの支援を。

武道は技術の向上はもとより、精神の鍛錬、また人の道を修めていくものであると思う。人間性の基礎をつくる青少年の教育にはきわめて有意義なものだと思う。



ちびっ子拳士たち(勝本中学校体育館にて)

久間 初子 議員



Q 公立病院跡地

移転後長い間そのまま放置されると、野犬の住処となる。また近くには学校等もあり、学生に悪い影響を与えることが懸念される。新道商店街の景観も壊しかねない。早急に更地化をして本庁の駐車場が公共の建物の建設を望む。

A 長田市長

公立病院跡地については、一部本庁事務所として利用、あとは解体をする。将来的には検討委員会などで検討をしていく。

Q 吉岐観光

観光客の方々に吉岐ならではの食材を使つての料理を出してほしい。ホテル・旅館・民宿等の方々に研修会を開催し、実践されるよう市で計画はできないか。島内の全物産店で買い物をしていただくために市街地散策マップの作成を。観光地に洋式トイレの必要性を感じる。高齢者・障害者の方々のために検討を。

A 長田市長

観光については、食材もなるべく地産を使つてほしいし、吉岐に再度訪れてもらうよう、またなるべく滞在型の観光になるよう関係機関とも相談・研究をしていく。トイレについては、担当と協議しながらすすめているが、台風での公共施設災害で若干おくれしている面もある。今後努力していく。



清潔感のある郷ノ浦支所下の公衆トイレ

平尾 典子 議員



Q 吉岐市の男女共同参画は

国、県でも最重要施策の一つであるこのことが吉岐市でどう具現化されているか。取り組みがにぶい。基本計画や条例制定に向けての担当部署をつくつて。又女性幹部職員登用と人材育成を。セクハラやDVに対する相談窓口もない。民間と連携しカウンセリングや心の健康相談を行う場所を。

A 長田市長

男女共同参画基本計画については、検討委員会などを設置し、十分検討



吉岐子どもセンターにて（郷ノ浦町本村触）

Q 養護学校分教室設置を

して住民の意見を反映した取り組みをしたい。担当部署については、よく係と相談して検討する。

A 長田市長

養護学校の分教室設置については、積極的に進めていく。

障害のある子どももいない可能性もなき普通の学校と一緒に教育する統合教育がこれからの教育の流れとなる。島内での選択肢を拡げることができ各機関との連携をとるために、統合教育の視点を重視した養護学校の設置を。子どもセンターには専門職の活用を。六才の次世代育成支援地域行動計画策定については、市の少子化対策の柱として位置づけをし、八月に三千人にアンケートを行い、保護者などと懇談会などを開催、五年間で実効性のある行動計画の策定に努める。

【請願・陳情・要請等の審査経過報告】

| 要請 第二号 | 要請 第一号 | 陳情 第十号 | 陳情 第九号 | 陳情 第八号 | 請願 第四号 | 受理 番号 | 件名 | 提出者 | 請願・陳情・要請の趣旨 | 常任委員会 審査付託等 | 結果 |
|------------------------|-------------------------------------|---|---|--|--------------------|----------|----|----------------------------------|---|----------------|-----------|
| 北方領土返還要求決議に関する要請について | 温暖化対策税の創設に関する意見書の提出について | 核兵器廃絶の「明確な約束」決議の実現に全力をつくすことを求める意見書採択の陳情 | 教育基本法「改正」ではなく、教育基本法に基づく施策を進めることを求める意見書を政府等に提出することを求める陳情 | 教育基本法「改正」ではなく、教育基本法に基づく施策を進めることを求める意見書を政府に提出して頂くことを求める陳情 | 「養護学校分教室の設置」を求める請願 | | | たんぼの会 (障害児を守る親の会) 会長 坂口 鉄生 | 吉岐市には、養護学校が無くやむを得ず島外に就学している状況にある。吉岐市の障害児教育のため、養護学校分教室の設置に向けた取り組みをお願いする。 | 常任委員会 審査付託等 | 委員会 結果 |
| 全国市議会議長会 事務総長 佐藤 達三 | 森林・林業・林産業活性化促進長崎県議会議員連盟 会長 八江 利春 | 原水爆禁止世界大会・長崎実行委員会 筆頭代表委員 大橋 裕 | 熊谷悟郎法律事務所 自由法曹団長崎支部長 熊谷 悟郎 | 高校改革を考える 長崎県民の会 会長 中島 卓馬 | | | | | 政府に対し、教育基本法の見直し・改正を拙速に行わず、教育基本法を学校や社会に生かす施策を進めることを求める意見書提出を求める。 | 総務文教 常任委員会 | 不採択 |
| | | | | | | | | | 政府・国会等に対し、「地球温暖化防止のための森林吸収源対策の推進による森林・林業・林産業の活性化と山村振興を求める意見書」の提出を求める。 | 産業経済 常任委員会 | 継続 審査 |
| | | | | | | | | | 政府に対し、2005年5月のNPT再検討会議における核兵器廃絶に向けた「明確な約束」決議の実現に全力を尽くすことを求める意見書の提出を求める。 | 総務文教 常任委員会 | 採択 |
| | | | | | | | | | 政府に對し、教育基本法の掲げる理念の実現に向け、努力されるよう要望する旨の意見書提出を求める。 | 総務文教 常任委員会 | 不採択 |
| | | | | | | | | | 全国市議会議長会において、「北方領土返還請求について」の要望活動を展開している。吉岐市議会において、北方領土返還に関する議決等の協力をお願いする。 | 総務文教 常任委員会 | 採択 |
| | | | | | | | | | | | 採択 |

| 要望 | 要望 | 要望 | 要望 第一号 | 要望 第四号 | 受理 番号 | 件名 | 提出者 | 請願・陳情・要望の趣旨 | 審査付託等 常任委員会 | 結果 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|-----------------------------------|----------|---------------------------------|--------------------------------|--|----------------|------|------|------|------|------|----|----|----|----|----|----|
| 平成十七年度税制改正及び行政改革に関する要望について | グランド・ゴルフ専用のコート設置について | 商業地等における固定資産税等の減額措置について | 地球温暖化防止のための森林吸収源対策の推進による森林・林業・山林の活性化に関する意見書の決議及び提出について | 三位一体改革と農林水産関係国庫補助金負担金改革に関する要望について | | 「道路の特定財源及び補助制度の堅持に関する意見書」採択のお願い | 吉岐市長 長田 徹 吉岐市農業委員会 会長 倉元 強弘 | 政府・国会等に対し、道路の特定財源及び補助制度の堅持に関する意見書の提出を求める。 農業委員会交付金及び農業関係補助金は、地域農業の振興には欠くことができない重要な財源であるので、農業委員会の三位一体改革に対する要望について配慮願う。 | 文書配布 | 文書配布 | 文書配布 | 文書配布 | 文書配布 | 文書配布 | 採択 | 採択 | 採択 | 採択 | 採択 | 採択 |
| 社団法人 吉岐法人会 会長 岩中 松生 | 勝本町グランド・ゴルフ協会 会長 福田 和市 | 全日本不動産政治連盟 会長 中林 増美 外一名 | 長崎県森林組合連合会 代表理事 会長 本山信太郎 | 吉岐市農業委員会 会長 倉元 強弘 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地方財政の主体性を確立と地方行政の効率化のため、平成十七年度税制改正及び行政改革に関する要望」を取りまとめた。実現について、配慮願う。 | 旧勝本町鯨伏中学校跡地を整備し、グランドゴルフ専用コートとして活用できるよう要望する。 | 商業地等の過重な固定資産税等の負担は地域経済の活性化を著しく阻害する要因となっている。吉岐市において、商業地等の固定資産税の条例減額措置を講じられるよう要望する。 | 政府・国会等に対し、「地球温暖化防止のための森林吸収源対策の推進による森林・林業・林産業の活性化と山村振興を求める意見書」の提出を求める。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文書配布 | 文書配布 | 文書配布 | 産業経済 常任委員会 | 文書配布 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 継続 審査 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

レポート

総務文教

『行政改革と 遺跡保存整備調査』

昨年十月中旬に春日市、吉野ヶ里、上野原で調査研修を行った。

一、春日市は事務委託共同処理、OA化を行革の理念とし、市民満足度の向上、職員の人材育成も策定の視点としている。吉岐市においても市民と

の協働を重視した施策が必要である。

二、吉野ヶ里は「弥生人の声が聞こえる」国営史跡として整備中である。国費二百九十億円、県費二百九十九億円が当初予算として計上されている。入園者数は十三年度六十八万人、十四年度五十九万人、十五年度四十七万人と年々減少している。平成十五年度の維持管理費は、国県の補助五億

六千万円。因みに収益は約一億二千万円である。鹿児島の上野原遺跡は「縄文の世界と向きあい、ふれあい、学び楽しむ場」の県営史跡である。整備事業費百二十四億円、入園者は平成十五年度十四万七千人、今後も十四万人前後と見込まれている。十五年度の管理運営費二億四千万円、事業費七千三百万円、全て県からの受託事業経費で賄わ

れている。両遺跡ともコスト面が最重要課題になっている。「時間と海風の交差点」の原の辻遺跡は、ランニングコストを十分に見据えた経営計画を樹立し、整備を推進すべき。国指定遺跡であり整備財源は国県の財政支援を。遺跡の管理も国立、県立公園の方向性を指すことが弥生時代の原風景を未来へと引き継ぐために

設備費は割高になり、かなりの資金投資が必要と思われるゴミの処理方法はいろいろあるが、処理方式を決め、その後で機種選定、システム検討すべきだ。半田病院は病床数一三四床、医師十五名、看護師一〇三名、CT、MRIを導入した近代的な病院であった。病院運営委員会（議会）、経営委員

を徹底的に教育することという三村院長のアドバイスであった。

は避けて通れない最大の関門である。

厚生

『大きな問題！ ゴミ処理と病院経営』

十月中旬、香川県東部溶融クリーンセンターと半田病院に研修に行った。香川県東部清掃施設組合の「全連続高温溶融処理方式」による広域的ゴミ処理施設である。また、施設内にはリサイクルセ

ンターを設け、ペットボトルの圧縮梱包も行っている。この全連続高温溶融処理方式は不燃ゴミ、粗大ゴミ等を含め何でも焼却（燃焼溶融）が出来る利点もあるが、膨大な設備費を要するという難点がある。燃料にはコークスを使用するためランニングコストは高くなる。吉岐市の場合は当施設より規模が小さくなるため、

設備費は割高になり、かなりの資金投資が必要と思われるゴミの処理方法はいろいろあるが、処理方式を決め、その後で機種選定、システム検討すべきだ。半田病院は病床数一三四床、医師十五名、看護師一〇三名、CT、MRIを導入した近代的な病院であった。病院運営委員会（議会）、経営委員

を徹底的に教育することという三村院長のアドバイスであった。

を徹底的に教育することという三村院長のアドバイスであった。

を徹底的に教育することという三村院長のアドバイスであった。

を徹底的に教育することという三村院長のアドバイスであった。

を徹底的に教育することという三村院長のアドバイスであった。



東部溶融クリーンセンターにて
(香川県さぬき市)



上野原遺跡保存館にて
(鹿児島県国分市)

委員会

産業経済

『環境時代への対応と資源維持・栽培漁業の調査』

昨年十月下旬、京都府及び岡山県にて産業振興・活性化の取り組みについて調査研修を行った。家畜排泄物の管理・適正利用促進に関する法律が強化されるなか、食品廃棄物の処理も含め有効利

用がどのような状況にあるのか、京都府の八木バ

イオエコロジーセンターを訪れた。当施設は、家畜ふん尿やミルクプラント廃液及びおからを堆肥化や液肥化し農地に還元することと同時に、処理過程により発生したガスを電気と熱に変え、施設の電力はすべて賄い、または売電されるなど、有機性廃棄物を最大限再利用する日本初の循環型シ

ステム施設であった。吉岐市においても、特に畜産振興は重点項目であり、今後環境に配慮したやさしい街づくり、資源の循環型利用促進の検討が急務と考える。

また、漁業の活性化策研修のため、岡山県栽培漁業センターを視察した。水産資源の積極的な維持培養を図り、沿岸・内水面漁業の振興促進のため、ヒラメ・ガザミ・サワラ・

ワカメなど十数種の重要

魚介類の種苗を大量に生産配布するとともに、栽培漁業に関する知識の啓蒙と技術研修を積極的に展開されていた。吉岐近海と環境の差はあるが育てる漁業、資源管理型栽培漁業または、魚場環境の保全保護など共通した認識であり参考になった。今後吉岐においても、種

苗・稚魚の生産拡充のため育成施設等の充実を図

建設

『下水道と都市公園』

昨年十月中旬、当委員会は滋賀県醒ヶ井クリーンセンターと奈良県国営飛鳥歴史公園の行政調査を行った。

醒ヶ井地区は琵琶湖に面した平坦肥沃な穀倉地帯で、豊かな自然ときれいな水の里をテーマにま

ちづくりが進められており、吉岐市と環境的に似通っている。

下水道普及率は七六・六割で全国平均（六五・二割）を大きく上回っているのは、観光地として琵琶湖の水質改善のために住民が理解を示したからだという。

ここでは、真空式汚水処理システムを採用しており、この方法には管路

の埋設深が浅く、他の埋設物の回避が容易であるため、工期が短くて済む。汚水漏れが無く管路の清掃も不要である等の特長があり、現在まで大きな問題は発生していないというである。

吉岐市も交流人口拡大のためには、下水道・浄化槽等、環境整備が急務である。

飛鳥歴史公園は全国最

初の国営公園で、昭和四十六年より整備が始まり、現在も続けられているが平成十六年度整備事業費十億一千八百万円、維持管理費二億四千七百万円、全て国費でまかなわれている。

吉岐市も原の辻遺跡を中心とした（仮称）県立埋蔵文化財センター（仮称）一支国博物館建設事業及び遺跡復元整備事業

業及び遺跡復元整備事業



国営飛鳥歴史公園館にて
(奈良県明日香村)



栽培漁業センターにて
(岡山県牛窓町)

について平成二十年度オープン計画がされている中、充分な検討が必要であると考え。

り、さらなる栽培漁業への取組み推進と技術強化が必要と思われる。

傍聴席から

芦辺町
瀬川 伸幸

市議会を初めて傍聴しました。既存施設の改造とはいえ、広くて重厚な雰囲気、質問に立つベテラン議員の経験豊富な風格、若手や女性議員の清新さ、そんな印象を受けました。市民が心豊かで安心して暮らせる、そして夢と希望に満ちた新生彦岐市の将来に向けて、活発な論戦が展開されていると思うと身の引き締まるような厳粛な気持ちと同時に、名実ともに市民から信頼される議会であって欲しいと思いました。

次に感じたのは、本会議に課長が出席し答弁していたこと。部制だから部長クラス以上が出席し、課長は本来の職務に専念すべきではと思いました。当然、市長、部長に事前にレクチャーされていると思いますが、どうしても必要であれば質問通告に関係する課長だけその時間帯に待機し（答弁はしない）、質問が終われば職場に復帰する。本会議期間中しかも終日議会に足止めするのはいかがなものかと思いました。市長さん、議長さんご一考を。

芦辺町
中永千津子

議会を傍聴されたことがない方には、是非一度傍聴をお勧めします。特に今の市議会は62名のマンモス議会です。12月議会ではなんと半数以上の方が一般質問をなさいました。（一般質問は予定表が議会受付に用意されていますから、関心のある質問の時間帯に合わせていくことも可能です。）あと一年余りで、26名での市議会となるわけですが、それまでは大世帯であることのメリットを生かして、皆様で侃々諤々^{かんかんがくがく}の議論を交わして頂きたいと思います。色んな考えをお持ちの議員の方々が多数おられる今だからこそ、真剣に彦岐市の問題点を行政の皆様と掘り下げ論じ合って、少しでも、明るい希望の見える彦岐の島にして頂きたいと、短時間の傍聴でしたが、心から思いました。どうぞよろしくお願い致します。



こどもは彦岐の宝（盈科小学校にて）

議会だより 第4号

平成17年2月5日
発行 / 彦岐市議会 編集 / 議会広報特別委員会
〒811 5521長崎県彦岐市勝本町西戸触182 5
TEL 0920 42 1111 FAX 0920 42 1116
E-mail gikai@city.iki.nagasaki.jp

議会だよりは彦岐市ホームページ（<http://www.city.iki.nagasaki.jp>）にも掲載しています。

編集後記

平成十六年の師走が慌ただしく過ぎ去り、十七年の新春を迎えることができました。

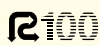
昨年は、相次ぐ台風の接近・新潟中越地震など全国的に災害の多い年で、多くの方々が命を落とされており、

海外でも、スマトラ沖の大地震で多くの被害者が出ました。

彦岐では幸いにも大きな災害は起こっていませんが、いつ起こるか分からない災害に対し万全の体制を整えたいものです。

平穏な一年であることを願わずにはられません。

広報委員会



この議会だよりは、古紙配合率100%の再生紙と、揮発性有機化合物を一切含まないノンVOC植物性インキを使用しています。
また、印刷はISO14001認証取得工場で行っています。